

## 現総合計画の構成・内容と課題

	現総合計画の構成	記述内容	主な意見・評価・課題
基本構想	1 策定の趣旨	時代状況と取り組むべき課題 基本構想策定の目的	市民と共有できるわかりやすい表現 時代認識について修正を
	2 都市像	21 世紀中葉のめざすべき将来の仙台の姿 親しみやすい都市像の副題 都市像が達成された状態	4つの都市像の方向性は踏襲 都市像を統合した最上位の理念が必要 都市像という文言を修正すると共に、担い手である「市民」の記載も必要では？
	3 施策の基本方向	都市像の実現に向けた施策の基本方向	都市像に沿っており、基本計画の4との重複感あり 修正できないか？
	4 基本構想の推進	基本構想の推進に向けた都市経営の方向性 総合計画の構成と枠組み	構想推進を担保する仕組み、実現に向けた新たな市民協働の仕組み等が必要 施策的な記述も混在
基本計画	1 基本的考え方	基本計画の目的・位置づけ・課題・推進主体・視点 人口等の基本指標	様々な要素が混在 わかりやすい数値目標の視点が必要 夜間人口は現計画と乖離(下回る)
	2 都市空間形成の枠組み	基本方向と都市機能連携等 土地利用の基本方針	簡潔すぎる 道路交通面や広域的な視点が不足 中期・長期の目標設定必要
	3 施策展開の基本方向	基本構想3の4つの柱毎の政策課題と基本方向	基本構想の3や基本計画の4との重複感あり 新たな切り口が必要では？
	4 分野別計画	基本構想3の4つの柱毎の動向・課題と施策体系 施策体系毎の基本目標と基本的施策	重複感あり 分野横断的な新たな切り口が必要 重点プロジェクトのような横断的施策を検討してはどうか？
	5 区別計画	区別計画の趣旨・構成・視点 区毎の特性・動向と施策方向 地域毎の施策方向	きめ細かな地域情報に基づく地域政策が必要 区が主体的に作りこむことが重要
	6 都市経営	3つの柱毎の基本目標と基本的施策	新しい市民協働のシステム 行革の確かな実行
	実施計画 < 平成 10-12 年、13-15 年、16-18 年、19-22 年と3年毎に策定(最終は4年) >	基本計画に基づく中期的期間(3~4年)の事業内容	基本構想の将来目標と基本計画の目標を進捗管理する手法が必要 3~4年の計画期間は踏襲 財政的裏づけの視点が重要